

Kofu Symbol 500 !



甲府をデザインからもっと好きになる。



## Greeting

ごあいさつ

『デザインという切り口から甲府を楽しくする冊子「コウフシンボル 500」の制作を通して、甲府市の文化・歴史・伝統をシンボルの観点から収集し、新たな発見・気づきを交流のきっかけとし、後世につないでいくこと』を掲げる「コウフシンボル 500 プロジェクト」は、2019年4月、甲府開府500年記念事業企画提案事業として認定していただきスタートしました。

この壮大なプロジェクトの代表である私稲生は、甲府への移住者です。甲府に住みたい!と思い移住したものの、まだまだわからないことだらけ。そんな私が制作委員会を立ち上げ、一からボランティアとシンボルを募集し、情報を収集し、シンボルを選定し、取材し、記事を書き、写真を集め、必要な掲載許可をいただき、編纂し、ようやく皆様のお手元にお届けすることができる運びとなりました。今、振り返るとなんと壮大なプロジェクトにしたことか。このプロジェクトの末に「コウフシンボル 500」が完成したことは奇跡に近いと感じます。このような何の前例もない企画に賛同し、一緒に活動してくれた制作委員会とボランティアの皆さんをはじめ、こうふ開府500年担当の方々、様々にご協力くださった皆様がいなければ「コウフシンボル 500」は完成させることができなかったでしょう。本当に、感謝しかありません。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

さて、突然ですが、あなたは甲府が好きですか?「好き!」という方も、「好きも嫌いも・・当たり前にある」「知らない」「行ったことがない」という方も、この本を手にとってくださって大変嬉しいです。地域の活性化が叫ばれる昨今ですが、その土壌となるのは「知る・好きになる・関わる」の連携ではないかと思っています。もうひとつ加えるならば「好きだと気づく」でしょうか。そういった誰かの気づきやアクションにつながればいいなと思い、この本の1ページ目には「甲府をデザインからもっと好きになる。」と入れました。ちなみに、私は甲府が大好きです。とても魅力的な街だと思います。その魅力は、空気、水、自然、人、歴史、文化・・など、沢山あります。「そんなところ、あちこちにあるんじゃない?」そういう声も聞こえてきそうですが、同じ環境もないし、同じ人もいません。街かどの景色、そこにある思いやストーリーは、唯一無二の魅力を放ち、甲府を照らしています。そして同じように、シンボルにはひとつひとつストーリーがあり、そこに関わる人たちがいます。

今回、“シンボル”という枠組みで様々なシンボルを並列的に掲載させていただき、素人がそれぞれの視点から記事を書きました。それは一見、乱暴にも見えるかもしれませんが、窓のようなイメージで見いただければと思っています。シンボルの先にある、ここにしかない人の営みに目を向けていただけますと、より一層楽しんでいただけるかと思えます。ぜひ、色々な目線でこの本を楽しんでいただければと思います。

令和2年、年が明けて間もない頃から新型コロナウイルスにより、私たちの生活は一変しました。今まで経験したことのない変革の時をむかえています。実際、本プロジェクトも少なからず影響を受け、掲載許可をお願いした中には、休業や閉店予定のために掲載をお断りされたケースもありました。2020年3月に予定していた「コウフシンボル 500 発表記念交流会」も開催時期未定の延期となってしまいました。

甲府が誕生して500年。この間にも、今の私たちのように変革の時を感じた人々がいたのでしょうか。これから、100年、200年、500年後、私たちひとりひとりの生き様が紡いでいった先で、人々はどんな暮らしをし、どんな甲府の姿があるのでしょうか。まだまだ変化で大変な時ではありますが、協力してこの困難を乗り越え、甲府がより素晴らしいものとして繋がっていくことを信じていきたいと思えます。

このような折、これまでの500年間に触れることができる「コウフシンボル 500」が、皆様のこうふぐらしをより豊かなものにし、一緒に甲府を盛り上げ楽しんでいければ幸いです。

長文となりましたが、最後に“甲府”への心からのリスペクトと、その一員として受け入れてくださった皆様に心からの感謝を表明してご挨拶にかえさせていただきます。

コウフシンボル 500 制作委員会 代表 稲生えり

Enjoy!

この本のたのしみかた



みんなで



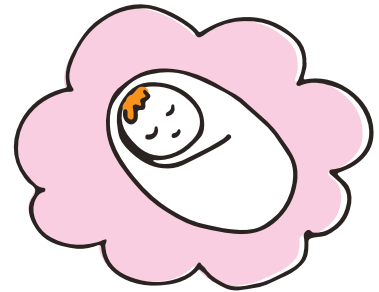
街歩き



ひとりで



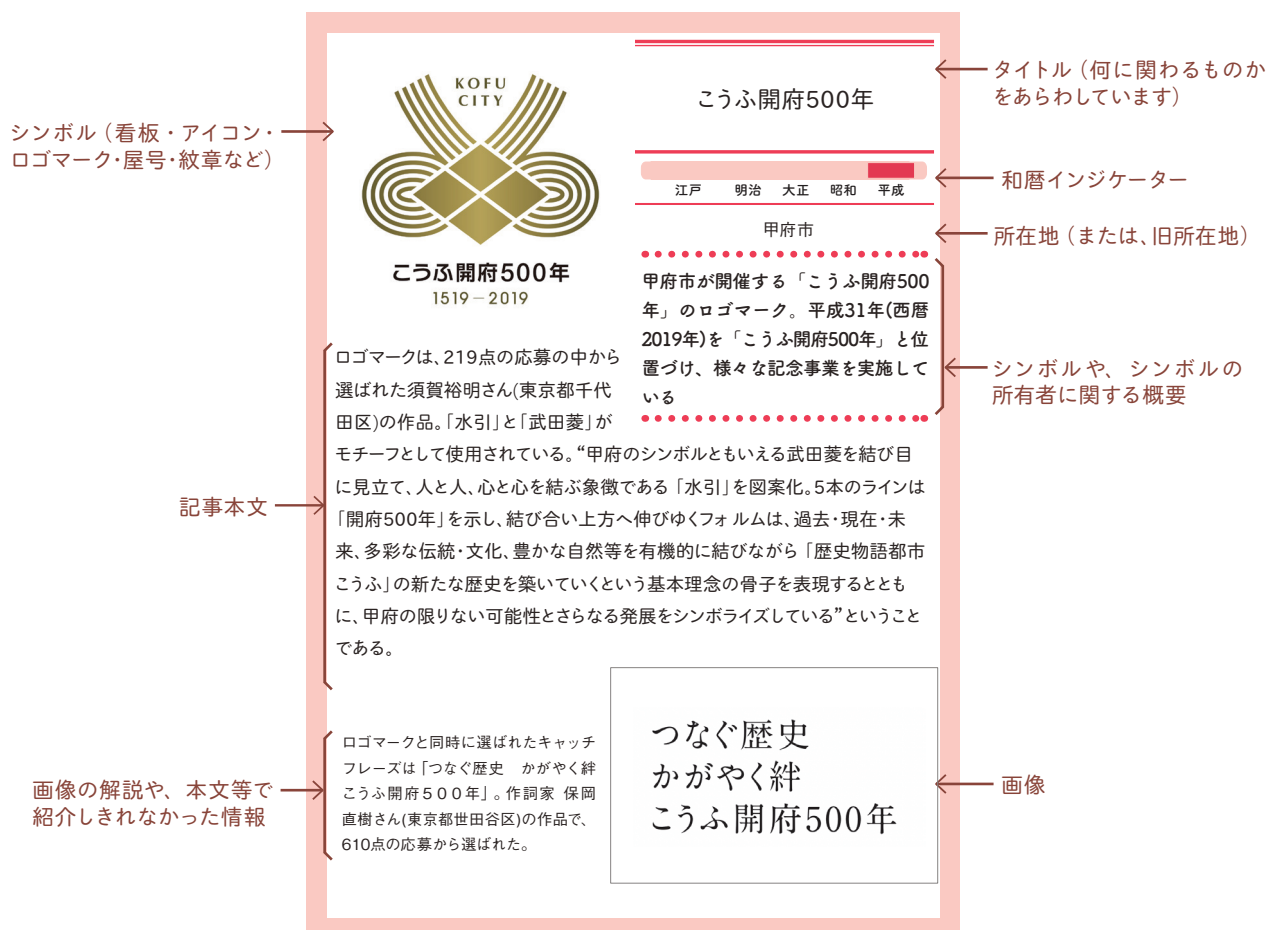
お店へ go!



孫へ引き継ぐ

## How to read

### この本のよみかた



各シンボルの記事は、市民ボランティアが調査・取材等を行い、取材者目線で書きました。

そのため、個人的見解を多分に含んでいます。

※ Q&A もご参照ください。

# About Symbol

コウフシンボル 500 制作委員会では、下記基準を設け、シンボルを選出しました。



## コウフシンボル500 シンボルの選出基準

< シンボルの対象（収集要件） >

シンボル収集の対象は、下記1～4すべてを満たすものとする。

### 1. 【所在地】

シンボルを有する個人または法人、公共機関等の所在地が甲府市内にある、又はあった事実を有するものを基本とし、甲府市との関係性が極めて濃厚である場合は例外的に認めるものとする。（本店・支店は問わない）

### 2. 【時間】

2019年4月1日時点で1年以上存在している、又は存在していたシンボルであること。（例＝2018年4月1日以降にオープンしたお店のもの等は×）

### 3. 【シンボルの定義】

シンボルとは、特定のフォント、ロゴなどの固有のデザインを有するものとする。

### 4. 【選出方法】

選出にあたっては、本選定基準に基づき、甲府に関連するシンボルを集め、優先選出（教育機関や公共施設・行政等のシンボル）を決定、優先選出の対象とならないシンボルから制作委員会メンバー及び市民ボランティアによる多数決投票にて上位より市民選出を決定する。

### 5. 【その他除外要件】

宗教団体については、基本的にシンボルの選出外とする。但し、神社仏閣等で公共に認められた歴史的文化財は選出の対象とする。

< 市民選出の考え方 >

「市民選出シンボル」の選考に当たっては、下記の内容を踏まえ、市民ボランティア各々が自己の判断に基づいて投票するものとする。

「コウフシンボル 500」は、「デザインという切り口から甲府を楽しくする冊子」を掲げ、「コウフシンボル 500」の制作を通して甲府市の文化・歴史・伝統をシンボルの観点から収集し、新たな発見・気づきを内外の交流のきっかけとし、後世につないでいくという使命を担っています。

「見慣れたマークだけで甲府発だったんだ」といった身近なものから「あ、これ知ってる！懐かしい～」とか「こんなのがあったんだ、面白いな～」というものまで、文化的・伝統的なもの、歴史の中で埋もれていく可能性のあるもの、心に響いたもの、思い入れのあるもの、デザインのインパクトがあるものなど、単に有名度や規模の大きさを計るのではなく、市民が思う次世代に残したいシンボルを集約・選定し残していくことが「コウフシンボル 500」らしい選考方法となると考えます。

### Q&A 1 コウフシンボル 500 プロジェクトって何ですか？

甲府をデザインからもっと好きになる！をテーマに、こうふ開府500年企画提案事業として活動しています。甲府の中にあるシンボル（ロゴマーク・屋号などなど）を集め、開府～現在の甲府の文化・歴史・伝統を後世に残すワクワクするような冊子「コウフシンボル 500」を発行するプロジェクトです。

### Q&A 2 「コウフシンボル 500」は売っていますか？

販売はしていません。無償配布の限定1000部発行のみとなります。また今後も増刷及び販売の予定はありませんので、お手元の冊子は1000分の1冊です。ぜひ大事にしてくださいね！

### Q&A 3 「コウフシンボル 500」はどこで見られますか？

主な閲覧場所は、県立図書館、市立図書館となります。市役所、公民館、学校、病院等の公共的な場所にも配布させていただきますが、自由に閲覧できるのは図書館が便利かと思われます。また、今後「電子版」をホームページにアップし、冊子がお手元のない方にも広くご覧いただけるようにいたします。

### Q&A 4 「コウフシンボル 500」はどのようにして作られたんですか？

制作委員会、市民ボランティア、学生のチームによって制作されました。一般募集およびこのチームにより各シンボルをたくさん集め、多数決にて選出したものを、制作委員会とボランティアが手分けして取材や記事作成などを行い、一冊にまとめました。

### Q&A 5 マーク、シンボルマーク、ロゴマーク、アイコン（立体含む）、文字列、紋章の違いは何ですか？

デザイン上の定義が難しくなるため、今回の制作においては、上記のモノを総称して「シンボル」として呼ぶことにしました。

### Q&A 6 会社のシンボルがオフィシャルのものと違うように思いますが？

会社やお店などにおいては、正式なロゴマーク以外にも社章や商品のマークなど様々に多数存在する場合があります。そのように複数ある場合は、その中から掲載させていただきたいものを制作委員会で選出しましたのでご了承ください。

### Q&A 7 和暦インジケーターの時代が違うような気がするのですが・・・？

掲載記事の中にはシンボルが制作された時期は「平成」であってもお店は「江戸」の創業というような例が多分にあります。そのような場合は、会社やお店の「創業時期」をインジケーターに反映してあります。

### Q&A 8 「シンボル」と「画像」が掲載されているけど、どちらも画像（データ）じゃないの？

本紙本文内では、記事の左上を「シンボル」、その他の写真等を「画像」と呼んでいます。

### Q&A 9 掲載されている写真のクオリティやシンボルのフォーマットがバラバラだけど・・・？

取材先（掲載先）からいただいたものや、取材時に撮影したものなどフォーマットが統一できていません。当然に古いものもあつたりと寄せ集めではありますが、できるだけ「掲載する」ことを優先しました。この手作り感を味として楽しんでいただければ幸いです。

### Q&A 10 掲載されている情報が間違っているんだけど？












気づいていただき、ありがとうございます！間違った情報を掲載している箇所がありましたらお手数ですがご連絡いただけますと幸いです。

【連絡先メールアドレス】kofulifelab + ks500@gmail.com

### Q&A 11 この活動に今から参加できますか？もしくは今後も活動は続きますか？

こうふ開府500年企画提案事業としての制作委員会活動は冊子の発行、および「電子版」の公開にて終了となります。新たに参加者を募集する予定は今のところありません。ただし熱いパッションを投げかけてくれた方がいるのであれば、今後もスピンオフ企画を考えていきたいと思っていますので、ぜひお気軽にお声がけください！

ヨウフシ  
ン  
ボ  
500ル

- 11  コウキョウ ノ シンボル (公共機関・公共性の高い施設など)
- 27  ウヤマイ ノ シンボル (神社・仏閣)
- 37  フルキヨキ シンボル (古きもの・懐かしきもの)
- 49  ショウギョウエリア ノ シンボル (商店街・商業施設など)
- 59  ン? キニナル シンボル (武田二十四将の旗印)
- 67  ボランティア ノ エラブ シンボル (会社・お店など)
- 129  ルーツ ノ シンボル (学校など)
- 157  500年のページ
- 160  ボランティアのページ
- 162  学生のページ
- 164  番外編：甲府の昔の地図, こんなところにも武田菱!, 他

---

ご協力・ご協賛・広告

引用参考文献

